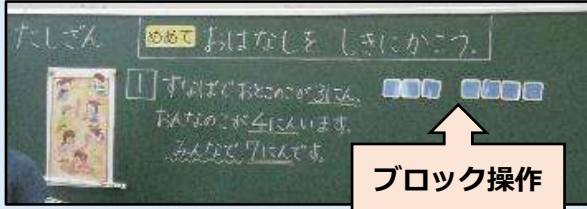


6月の実践

算数科：『たしざん（1）』 めあて：おはなしを しきに かこう



ブロック操作

なんか、楽しいね。

「ハト」の挿絵を動作化して考える



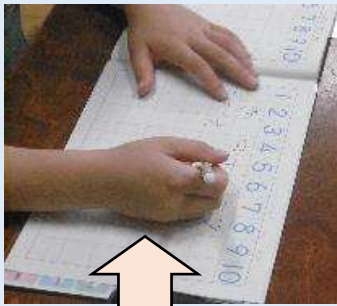
実際に動作化することで、「あとから」を理解している。



両手で両側から包み込むようにして、中央に寄せる動作と「合わせる」という言葉を関連付けて理解できるようにする。

<主な学習活動>

- ① 本時の「めあて」を確認する。
- ② 「砂場」の挿絵「あわせていくつ」を動作化して考える。
- ③ 「ハト」の挿絵をみて「あとから」「ふえるといくつ」を動作化して考える。
- ④ 「たす、たしざん」や「+、=」の意味や読み方、表し方が分かり、式に表して、答えを求める。
- ⑤ 「公園」の挿絵を見て、加法のお話づくりをする。



加法の式を知り、合併の場面を加法としてとらえ、「たす、たしざん、+」を理解して式に表し、答えを求めている。

○ 幼児教育では遊びや生活の中で、必要感をもって多い少ないを比べるために物を数えたり、長さや広さ等の量を比べたりして遊び、数量や図形への興味や関心を高めている。

【言語活動の工夫】
問題場面とブロック操作を関連付け、言葉や式に表したり、式から具体的な場面を考えて話したりする活動を充実させる。

2 3+2=5のしきになるおはなしをしましょう。



式からお話づくりをしよう

- ・ 児童は、挿絵から「 $3 + 2 = 5$ 」に合う話をつくろうと興味深く見ていた。
- ・ はじめは、色や男女等、すぐに区別が付くことを見付けて進んで手を挙げて発表した。
- C： 自転車は黄色が3と青が2で合わせて5です。
- C： 縄跳びをしている女の子が3人と男の子が2人で合わせて5人です。
- C： タイヤは青が3個と黄色が2個で合わせて5個です。

【この学習で見られた児童の姿】

- ◆ ブロックを用いた操作活動で「あわせて（合併）」と「ふえと（増加）」を理解し、式に表していた。
- ◆ 動作化を繰り返すことで計算の仕方を考えていた。
- ◆ 挿絵を見て、自分なりに気付いたことを「お話」にして発表していた。
- ◆ 友達の気付きに、素直に驚いたり褒めたりし、「自分も」と意欲的に発言していた。

- ・ 一人の児童が「色は違うけど」と言っていて、気付いたことを発表すると、「そうか」と視点を変えて、改めて挿絵をじっくり見るようになった。
- C： カゴを見つけました。カゴがある自転車が3とカゴがないのが2で合わせて5です。
- T： 自転車は何て数えるか、知っているかな。
自転車は1台・2台、「台」って数えます。
- C： まだ、あります。帽子をかぶっていない子どもが3人とかぶっている子どもが2人で合わせて5人です。

- ・ 児童は休み時間になっても黒板の前に集まり注意深く挿絵を見て小さな違いに気付き、「 $3 + 2 = 5$ 」を発見する楽しさを味わっていた。

高見幼稚園 6月の実践

★ は、活動や体験を通して、育つことが期待される資質・能力

【】 は、幼児教育の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）



【事前の準備】5名×6グループ
 ・ 食材を幼児が切りやすい大きさに切っておく。
 ・ 4歳児のときにつくって寝かせておいた味噌
 ・ まな板、包丁（幼児用）、ボール、カセットコンロ、味噌こし、あみじゃくし、なべ、おたま

ねらい・・・様々な食材に触れながら、五感を通して調理活動を楽しむ。
 活動・・・自分たちでつくった味噌を使って味噌汁をつくる。



猫の手よね。

ニンジンが動かないように押さえます。包丁は落として自分の方に引きますよ。



包丁は、落として引いて、落として引いてだよ。

包丁で野菜を切る。

＜幼児の活動＞

- ・ ダイコン、ニンジン、サツマイモ、豆腐、コマツナの茎…包丁で小口切り。
- ・ コマツナの葉 シメジ…ちぎる、裂く。
- ・ イリコ…頭や内臓部分を取る。
- ・ 栽培し収穫した薄切りしたタマネギ。（保育者が切って準備）
- ・ 友達が調理している様子をよく見る。

- ・ 幼児が、五感を通して食材をよく見たり、匂いを嗅いだり、色や硬さ、感触の違いに気付いたりしていた。
- ・ 友達の行動をよく見て、気付いたことや疑問に思ったことを言葉で表現していた。

★思考力、判断力、表現力等の基礎

【豊かな感性と表現】【言葉の伝え合い】

すぐ、できる（裂ける）ね。シメジの匂いがするよ。

手でちぎる、裂く。

何で頭とか内臓とかを取るの？
おいしくないから？

ほんと。少し色が出ているね。

わあ、いい匂いがするね。そとすくわないと。

頭とかお腹のところが苦いからですよ。

出し汁をとる。

熱いから湯気にも気を付けて。ほら、出し汁の色が出たね。

このまま食べてもいいのかな。

イリコの頭はすぐとれるね。超簡単！

おいしくなあれ。熱いから少しずつ入れるね。

【保育者の援助活動】

- ・ 包丁、お湯の入った鍋、カセットコンロ等、安全管理に必要な物の使い方、後始末の仕方について具体的に説明し、落ち着いて行動するよう働きかける。
- ・ 幼児の動線と物の配置を熟慮し、グループに一人援助者が付いて、幼児が安全に行動できるようにする。
- ・ 幼児が自分でできたという達成感を味わえるように手助けをする。

豆腐を入れる。

味噌を入れる。

わあ、味噌の匂いがするね。これ僕たちがつくった味噌だよ。おいしそう。

＜幼児の活動＞

- ・ イリコで出し汁を取って、根菜から順に入れる。
- ・ みんなで味噌の匂いを嗅ぎ、最後に味噌を入れる。

- ・ 幼児は安全に関する話を聞いて、約束を守りながら調理活動を楽しんでいた。
- ・ 味噌の匂いを嗅いだとき「パンみたいな匂い」「納豆みたいな色と匂い」などの言葉が出ていた。そこで、発酵について説明すると、体によい菌によっておいしくなっていることに興味をもっていた。

★学びに向かう力、人間性等

【自立心】【自然との関わり・生命尊重】